

## 平 やったぞ！肝付牛 成30年度 第67回鹿児島県畜産共進会

9月29日霧島市にある始良中央家畜市場において平成30年度 第67回鹿児島県畜産共進会(県共)が盛大に開催され、県内各地区から選抜された肉用牛58頭が出場し、月齢など3部門ごとに厳正な審査が行われました。本町からも肝属郡の代表として鳥丸美知也さん(鳥越振興会)の「やすはな」号と米澤茂穂さん(水窪振興会)の「ひなりせ」号が若雌2区の部(17～23ヶ月齢)で出場し、愛牛と飼育者の一心同体で資質品位など競い上位入賞を目指しました。本町から県共に2頭出品するのは久しぶりで、これまで念入りな手入れや運動、調教など農家は



第67回 鹿児島県畜産共進会「若雌2区の部」審査の様子



最優秀賞1席に入賞された鳥丸美知也さん家族と「やすはな」号

もちろんのこと関係者と毎日朝早くから夕方遅くまで努力してこられました。会場では審査員が、体の幅や体長、栄養状態といった項目を念入りに確認しており、非常に緊張した時間が流れました。その結果、鳥丸さんの「やすはな」号が最優秀賞1席、米澤さんの「ひなりせ」号が最優秀賞2席に輝き、出品番号を続けて呼ばれた時は会場へ応援にこられた方の割れんばかりの拍手で感動に包まれ、お二方とも涙ぐんでらっしゃいました。また、鳥丸さんの「やすはな」号は種牛性賞(輪郭鮮明で資質品位が良く、和牛改良において産肉性や繁殖能力が優れ、最も雌らしい

牛)という特別賞も授賞しました。この2頭は生まれも育ちも肝付町産で、同一町での1席と2席は大変な快挙です。団体賞では11地区中肝属が総合優勝という輝かしい成績を収め、とても有意義な大会でした。

出品された鳥丸さん、米澤さん、また応援してくださった関係者の皆さん大変お疲れ様でした。これからも肝付町の名牛として毎日の飼養管理に励んでください。



最優秀賞2席に入賞された米澤茂穂さん家族と「ひなりせ」号